



株式会社 大栄建設 SDGs 宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」の趣旨に賛同し、積極的な取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

令和7年8月1日
株式会社 大栄建設
代表取締役 森 正

SDGsの達成へ向けた具体的取組



1. ハイブリットカーを社用車として導入し、二酸化炭素の排出削減に貢献いたします。
2. 若手社員の積極的な採用と資格取得サポート制度の導入により、キャリアアップ支援を行っていきます。
3. ICT 活用工事を積極的に導入し、生産性の向上を目指していきます。



株式会社 大栄建設



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

S D G s 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

所在地： 新潟県新潟市東区海老ヶ瀬 664

名称： 株式会社 大栄建設

代表者： 森 正

登録年月日： 令和 7 年 9 月 28 日

新潟県 S D G s 推進建設企業登録制度実施要綱第 8 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

三側面	具体的取組	2030 年に向けた指標	関連する ゴール
環境	ハイブリットカーを社用車として導入し、二酸化炭素の排出削減に貢献していく。また、EV 車・PHV 車の導入を行っていく。現在、EV 車の導入を積極的に行っている。	EV 車・ハイブリットカーの 導入割合 【登録時】26.6%(2025 年度) 【現状値】31.2%(2026 年度) 【目標値】40%	7
社会	若手社員の積極的な採用と資格取得サポート制度の導入により、キャリアアップ支援を行っている。 ＜実績＞ 1 級土木施工管理技士 1 名合格	資格取得サポート制度 ※若手社員に対する実施割合 【登録時】33.3%(2025 年度) 【現状値】50%(2026 年度) 【目標値】65%	4
経済	I C T を積極的に活用し、生産性の向上やそれに伴う労働環境の向上に取り組んでいく。 ＜過去実績＞ 2021.11 月～2022.10 月 西土第 39 号 ICT 施工を活用	I C T 活用工事の年間 件数 【登録時】0 件(2025 年度) 【現状値】0 件(2026 年度) 【目標値】1 件	8
その他		【登録時】 【現状値】 【目標値】	

S D G s 達成に向けた宣言書

所在地： 新潟市東区海老ヶ瀬 664

名 称： 株式会社 大栄建設

代表者： 代表取締役 森 正

当社は、下記のとおり S D G s 達成に向けた取組を行い、積極的に S D G s を推進することを宣言します。

記

分野 (三側面)	具体的取組	2030 年に向けた指標 (現状値：2025 年度)	関連する ゴール
環境	【現在行っている取組】 ハイブリットカーを社用車として導入し、二酸化炭素の排出削減に貢献している。	ハイブリットカーの導入割合 【現状値】 26.6% 【目標値】 30%	7
	【今後新たに行う取組】 PHV 車, EV 車の導入を行っていく。		
社会	【現在行っている取組】 若手社員の積極的な採用と資格取得サポート制度の導入により、キャリアアップ支援を行っている。	資格取得サポート制度 ※若手社員に対する実施割合 【現状値】 33.3% 【目標値】 65%	4
	【今後新たに行う取組】		
経済	【現在行っている取組】 I C T 活用工事を導入するため、社内研修を実施する。	I C T 活用工事の年間件数 【現状値】 0 件 【目標値】 1 件以上	8
	【今後新たに行う取組】 I C T を積極的に活用し、生産性の向上やそれに伴う労働環境の向上に取り組んでいく。		
その他	【現在行っている取組】	【現状値】 【目標値】	
	【今後新たに行う取組】		

※ 3 側面（環境・社会・経済）のうち複数の分野にまたがる取組については、最も関係が深い分野の欄に記載してください。どこにも該当しない取組は、「その他」に記載してください。（「その他」欄の記載は登録要件ではありません。）

※ 3 側面全てで必ず 1 つ以上の取組（「現在行っている取組」「今後新たに行う取組」のいずれか（又はいずれも））を記載してください。

※ 3 側面のうち 1 つ以上は「今後新たに行う取組」を記載してください。